

チェック
check

最近のニュース等からマンション管理に関する情報をご紹介します

マンション管理 最近の動向

マンション管理士 飯田太郎

広がる高齢居住者向け見守りサービス
契約方法や実施方法も多様に

高齢居住者の孤独死の増加などが心配されるため、管理会社でも見守りサービスを重視するようになってきました。ダイワサービスが7月から始めた「シニアサポートサービス」は①電話による毎週1回の定期連絡、②管理組合からのお知らせ等の対面手渡し、③毎月2回の水道メーター確認、④部屋内の管球類交換の4つのサービスを希望者に無償で実施しています。このサービスは特定の居住者を対象にしていますが、高齢居住者の事故を防止することで管理組合の負担軽減にもなります。

管理組合総会の決議を経て管理委託契約を一部改定すれば実施することができます。

また、ダイワードが4月から実施している「安心・安全・見守りサービス」は、メール通信機能を内蔵したセキュリティ端末を住戸内に設置し、異常等があると登録してあるアドレス宛てに緊急通知の電子メールが届く仕組みです。在宅しているにもかかわらず、一定時間人感センサーに反応がない場合にもメールが送られます。このサービスは、各居住者との個別契約で、契約期間は5年、料金は月額1500円～2000円程度です。

仙台市も、防災マニュアル作成支援事業を開始
年5回を目安に専門家を派遣

千代田区が昨年から実施しているマンション防災アドバイザー派遣制度と同様な事業を、仙台市が7月から始めました。「仙台市マンション防災マニュアル作成支援専門家派遣事業」で、防災マニュアルの作成に加えて、杜の都防災力向上マンション認定制度、防災活動の手法や手続き、防災活動に関する住民間の合意形成等の相談にも応じます。

相談時間の目安は1回2時間、派遣回数は5回までで、管理組合や住民団体の負担はありません。派遣申込みの受付は市役所で、専門家を派遣するのは宮城県マンション管理士会と東北マンション管理組合連合会です。

なお昨年度、仙台市が設けた「杜の都防災力向上マンション認定制度」による認定を受けたマンションは現在3件です。7月1日に管理組合として初めて認定を受けたナイスアーバン泉中央管理組合の場合、ガソリンとガスによる2種類の発電機を設置したほか、高齢者を対象に「困りごとサポート事業」も展開し、顔の見える防災対策も進めています。



飯田太郎（いいた・たろう）
マンション管理士
（株）TALO 都市企画代表

老朽化マンションの再生や地域コミュニティ等についてコンサルティングを行っている
マンション管理に関する講演、著書多数